

Shining Achievers

プロジェクトの授業がはじまりました！

4/10（月）に、初めてのプロジェクトの授業がありました。プロジェクトとは、教師がテーマとゴールを決めて行う活動です。第1Qから始まるプロジェクトのテーマは、「SOLANマッププロジェクト」。「SOLANの施設や人の働きを知り、保護者や学校説明会の来場者にSOLANのことを知ってもらおう」という目的のために、「QRコードで読み込めるSOLANマップを作成する」ことをゴールとしています。このテーマとゴールは、先日、子どもたちに共有し、子どもたちは、集中して聞くことができました。

今回のプロジェクトを行うためには、生活科の学校探検、国語の話す・聞く、発表する、情報のKeynote・カメラなど、多くの教科の知識が必要です。教科で学んだことを、実際に活かして活動する場面を作ることで、教科学習により意欲的に取り組めたり、教科の学習を実際にどのように使うのかを学ぶことができます。

今回は初めての授業だったので、「学校にどんな場所があるかを知る」ということを、めあてに設定しました。SOLAN小学校の授業では、毎時間めあてとルーブリックを設定します。ルーブリックとは、全員達成を目指すA目標と、A目標にプラスしたS目標があります。今回は、「どんな場所があったのか言える」ということをA目標、「不思議に思ったことを言える」というのをS目標として設定しました。

授業の最初に教師が設定したルーブリックを共有し、子どもたちに提案することで、何を目標に活動を行うのかを明確にしてから授業を始めることができます。また、授業の最後には自分がS、Aのどちらなのか振り返りを行います。そうすることで、自分の活動を客観的に見て、自分の行動を調整できるようになることを、ねらいとしています。

今日の活動では、各クラス2つのグループに分かれ、計6グループで学校探検を行いました。子どもたちは、先生の引率のもと、理科室、図工室、体育館、ラーニングコモンズ、上級生の教室などを探検しました。一つひとつの施設で、疑問を探しながら探検したため、時間が足りなくなるグループもありました。今回周りきれなかった場所は、次回以降の授業で、探検していく予定です。

「他の学年は授業をしているから、静かに移動しよう」という共通理解で活動をスタートし、移動中は、列でしっかりと移動することができました。先週は、クラスの友達の色や自分の番号をまだ覚えておらず、番号順で並べなかった子どもたちも、今日のプロジェクトでは、スムーズに並べるようになってきました。少しずつ、成長しています。

上級生の教室を見学した際は、同じくプロジェクトの授業をしている上級生に質問したり、交流をすることができ、子どもたちは喜んでいました。上級生の姿を見ることで、自分の将来を、具体的に想像できたと思います。

探検後は、自分が見つけたものや、疑問に思ったことを交流しました。「音楽室の横にあるドアは何?」「配膳室では、給食を作っているの?」「お弁当を運んでるだけじゃない?」「理科室って、何をするとところ?」など、グループごと、活発に意見交換をする様子が見られました。今回、教員は、場所の名前と出会った先生の紹介のみで、施設の使い方やものの説明は行いませんでした。そのため、子どもたちの口からは、素直な疑問がたくさんでました。入学式後の学年団からの説明でもありましたが、今後も、子供の?や、疑問を大切にしていきたいと思います。

今回周りきれなかった施設は、次回以降のプロジェクトの授業で探検する予定です。見つけた疑問を、調べて解決し、最後には、QRコードで読み込めるSOLANマップを作成します。

先週、初めてiPadを触り、朝のiPadでの健康観察が、自分でできるようになってきました。子どもたちは、毎日、新しいことを吸収しています。このプロジェクトを通して、子どもと一緒にどう成長できるのか、楽しみです。